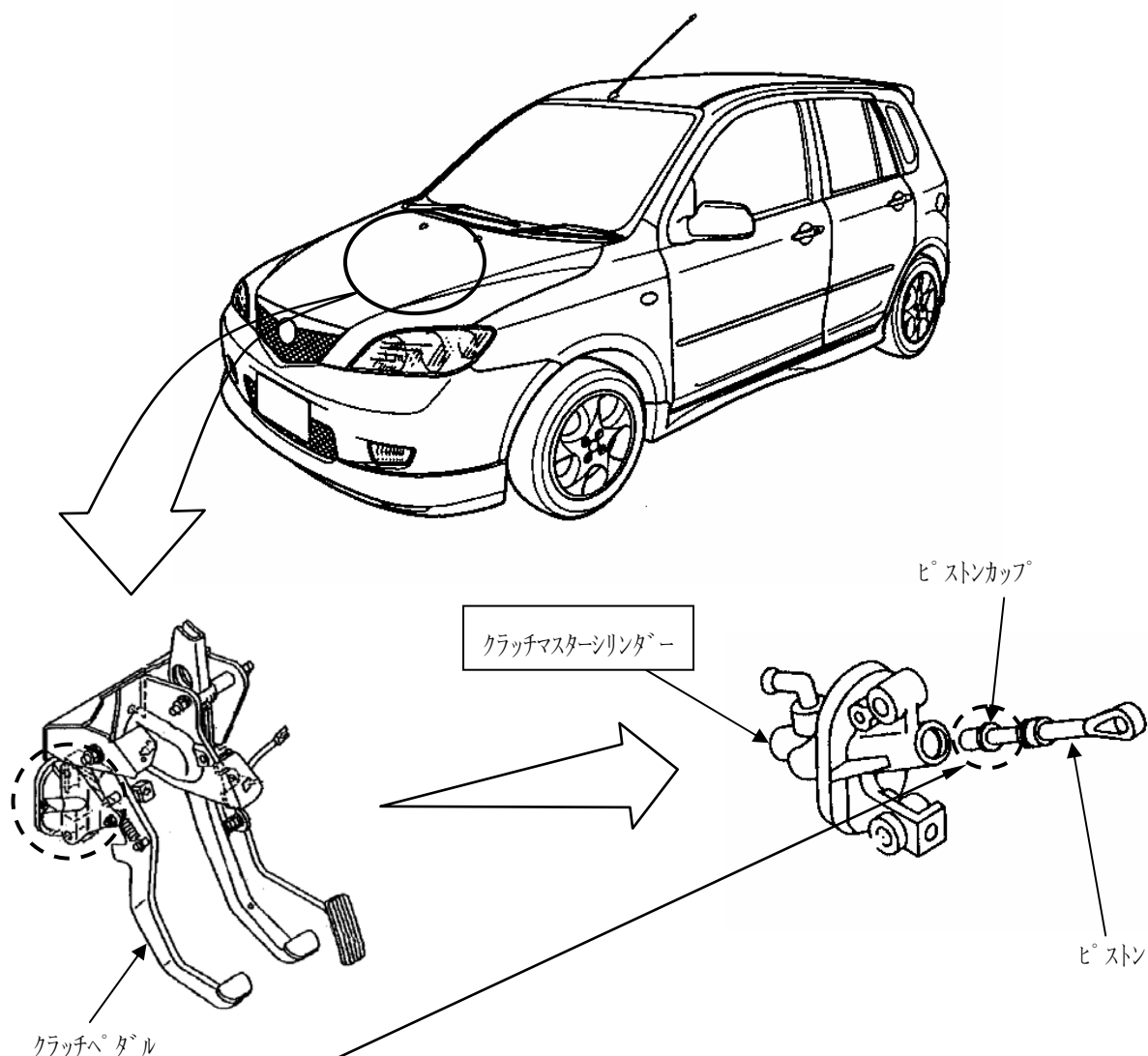


改善箇所説明図①



基準不適合発生箇所

クラッチマスターシリンダー内のピストンカップの材質が不適切なため、当該ピストンカップが早期に摩耗することがある。そのため、そのまま使用を続けると、シール不良となり、クラッチの液圧が低下するものがあり、最悪の場合、クラッチが切れなくなり走行不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、クラッチマスターシリンダーを対策品と交換する。

注：□は交換部品を示す。

識別：クラッチペダルの側面に黄色ペイントを塗布する。